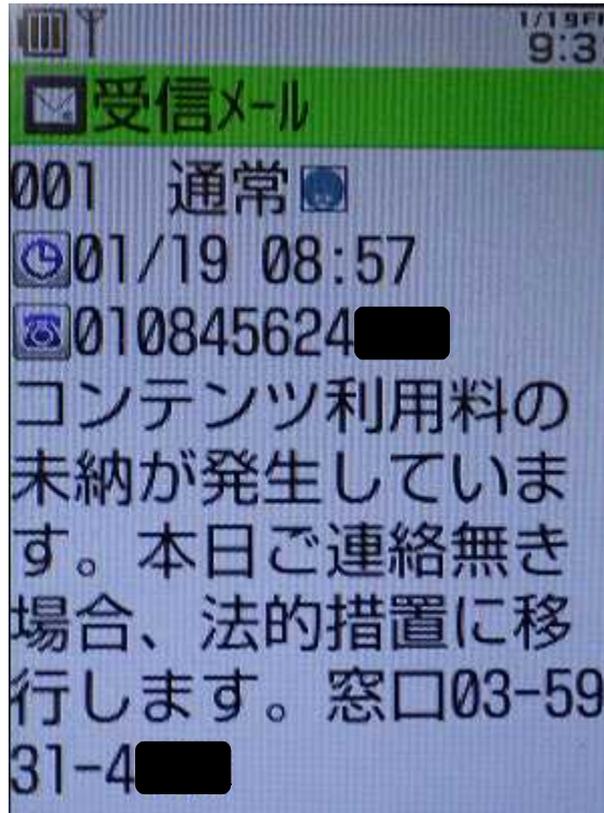


あなたは大丈夫？ 架空請求危険度チェック (第六弾)

あなたの携帯電話に1通のメールが…



さて、あなたならどうしますか？



①なんだいな、このメール。詐欺だな。無視、無視。



②「利用料の未納」？覚えはないし、きつとなにかの間違いだけえ、電話して確認してみようかな。



③えっ！？えらいこっちゃ。「コンテンツ」とかよう分からんけど、きつとなんかで使ってしまったわい。はよ、電話せな。

裏面に続く

このメールは、架空の事実を名目に料金を請求する**架空請求詐欺**です。どの選択肢を選んだかによって、自分自身が詐欺被害に遭いやすい傾向にあるのかどうかチェックしてみてください。

①を選んだあなた…

詐欺被害危険度「低」！（危険度は低いです、油断は禁物です。）

今回のような架空請求メールは、無視することが一番です。相手には絶対に電話をしないでください。

②を選んだあなた…

詐欺被害危険度「中」！（どんな要求も断る勇気があれば良いのですが…）

「怪しいメールだとは思うけども、電話をして確認してみたい…」との気持ちは分かります。

しかし、相手は騙しのプロです。こちらが確認のために電話をしたことで、犯人の巧みな口車に乗せられ、最後にはお金を払わせられてしまう可能性があります。

どうしても気になる場合は、警察に相談するか、少なくとも電話帳で調べた実際の会社の電話番号に電話をしましょう。

絶対に、メールに書かれた電話番号に掛けてはいけません。

③を選んだあなた…

詐欺被害危険度「高」！（非常に危険です！）

架空の請求を信じ込んだ状態で犯人へ電話をしてしまっただけでは、その後の犯人からの支払い要求に応じてしまう可能性があり、非常に危険です。

「本日中に支払え」、「法的措置に移行」などは、犯人がこちらを騙すための決まり文句です。

犯人からの要求には絶対に応じてはいけません。

3つの選択肢により、詐欺被害危険度をチェックしていただきましたが、今回、①を選んだからといって、詐欺被害に絶対に遭わないというわけではありません。

この危険度チェックの結果を踏まえて、

改めて詐欺に対する警戒意識を持つ

ことにより、詐欺被害を回避しましょう！

いかがでしたか？ 犯人たちはこちらを騙そうと必死になってどんどんと手口を変えてきます。新しい手口が出てくれば、新たな詐欺被害者が出てしまうかもしれません。

しかし、新しい詐欺の手口が増えたとしても、騙されない方法があります。

それは**騙されるかもしれないという認識**を持つことです。

残念なことに、「私は絶対に騙されない」と詐欺を他人事と考えている人はまだまだたくさんおられます。現実には、騙された人の多くが、「私は騙されないと思っていた」と話しておられます！「自分も騙されるかもしれない」と認識するだけで、詐欺被害に遭いにくくなるのです。

そして、もっとも大切なことは、誰かに**相談する**ことです。

「これまで見たこともないメール等による料金請求」、「今まで届いたこともない請求のハガキ等による最終告知」等は、必ず家族や友人、警察へ相談してください。「警察へ相談するのは気が引ける」等と思われる方もおられるかもしれませんが、お金を騙し取られてからでは遅いのです。自分自身が後悔することがないように、

お気軽に警察へご相談ください。



智頭警察署 0858-75-0110
警察総合相談電話 #9110